

# 『Mind Charging』

第 83 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 7 月 18 日

## 安西先生(スラムダンク)の名言



部活をやっている人は、このシーンに似た経験があるかもしれませんが、普段の生活の中でこのようなことを感じる瞬間はなかなか無いかもしれません。しかし、部活ではそれがわかりやすく感じられるだけで、我々は常にいくつかのチームに所属しています。家族・学校・クラスも考え方によってはチームといえますから、みなさんは間違いなくそのチームの一員です。

毎日何らかの形でそれぞれのチーム内にいることが“当たり前”になってしまい、気分や疲れ、忙しさなどからつい自分本位で動いてしまうことがあります。もちろん部活内でのレギュラー争いなど、『これは譲れない』ということもありますが、それはお互いに理解できているはずなので弊害は生まれません。しかし、そうではない“ただのわがまま”の場合、その場はそれが通ったとしても、自分の中ではわがままと自覚していないと思います。自分が気づかぬうちに周りに迷惑をかけてしまったことに気づいた時、きっと申し訳なく、悲しい気持ちになりますよね。とっさに出てしまうアクションもあると思いますが、何か自分がアクションを起こそうとした時、少しでも周りのことを考えられるように心がけたいものです。

チームの一員として、チームに全く迷惑をかけないということはないと思いますので、自分も仲間を理解する努力をすることが重要です。大切な仲間のためなら我慢も時にはしてあげられます。思いやりの心なくして物事は進んでいくことはありません。それぞれがチームの一員であることに自覚と誇りを持ち、お互いに理解と尊重をしながらチームの価値を高めていきましょう。

(編集委員：入試広報室 鈴木)

『SLAM DUNK』(スラムダンク)は、高校バスケットボールを題材にした井上雄彦による少年漫画作品。『週刊少年ジャンプ』にて、1990年(42号)から1996年(27号)にかけて全276話にわたり連載され、アニメやゲームも制作された。主人公の不良少年桜木花道の挑戦と成長を軸にしたバスケットボール漫画。単行本第21 - 23巻の初版発行部数250万部は、当時としての最高記録である。シリーズの国内累計発行部数は1億2000万部を突破している。(Wikipedia 参照)